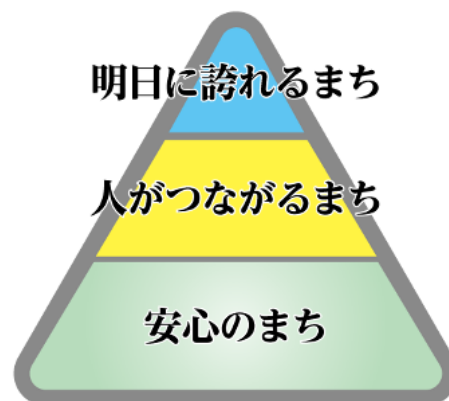


## 基本的な考え方

- 区民の安全・安心を守る防災・防犯などを礎に、活力ある地域社会の実現にむけて、様々な活動主体の取組を支援し、地域活動協議会（まちづくり協議会）を中心としたコミュニティ活性化につなげる。
- 地域の見守りなど、誰もが安心して暮らすための健康・福祉の充実、子育て・教育環境の充実など、現役世代の活力を生み出す取組を重点的に進める。
- 水と緑の豊かな都島区の魅力を発信し、わがまち意識の醸成をはかるとともに、区民の視点に立ったサービスの向上、質の高い行財政運営に取り組む。



### 安全・安心の まちづくり

自助・共助の取組への支援、事業所・施設との連携、通信・衛生の環境整備に加え、新たに医療機関との連携に取り組む。

子どもの安全見守りのための防犯カメラの設置、喫煙、自転車マナー向上など、区民と協働した取組を継続する。



### 人と人がつながり、 助け合うまちづくり

地域活動協議会を軸とする、コミュニティ活性化地域のつながりづくりや幅広い区民のまちづくり参加に取り組む。

地域福祉コーディネート事業による見守りネットワークの強化、高齢者や障がい者をはじめ、誰もが安心して暮らせる健康・福祉の取組を推進する。



### 明日に誇れる まちづくり

淀川、大川などの水辺を活かした賑わいづくり、蕪村などの歴史・文化、京橋の魅力などを発信する。

未来の都島を担う人材育成として、グローバル化に対応する英対話力づくりの他、運動能力、学習意欲の向上など、各事業を改善しながら、取組を継続する。

### 区役所力の強化

窓口サービスの向上、人に優しい庁舎づくり、情報発信力の強化を進めるとともに、[市政改革プラン2.0](#)に基づき、質の高い行財政運営の推進、人材育成、PDCA サイクルの徹底に取り組む。



## 安全・安心のまちづくり

## 防災のまちづくり 区防災対策事業

## 現状・課題

これまで、区民の防災意識の向上や地域における災害時の「自助」「共助」の基本となる自主防災活動を支援する取組として、実践を意識した地域との合同防災訓練、避難所開設訓練などを毎年積み重ねてきた。

また、地域防災リーダーの育成、介護が必要な高齢者や障がい者等の支援も意識した「地区防災計画」を順次策定してきた。

こうした取組を進めていく中で、今後地域の医療機関との連携により災害発生時の医療救護活動を円滑に進めていくことが求められている。

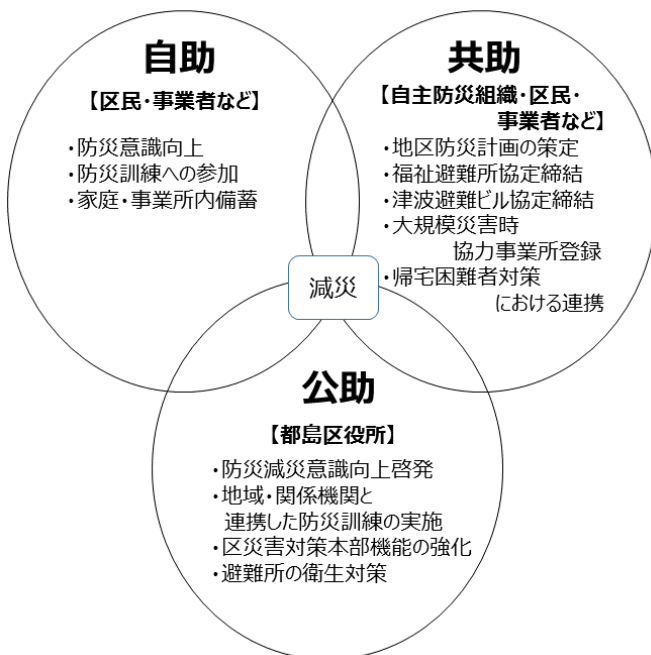
## 取組案

医療救護活動の初期初動体制を確保するため、区内の医療機関と連携し、避難所に設置する救護所での応急的な治療に不可欠な医薬品を整備。

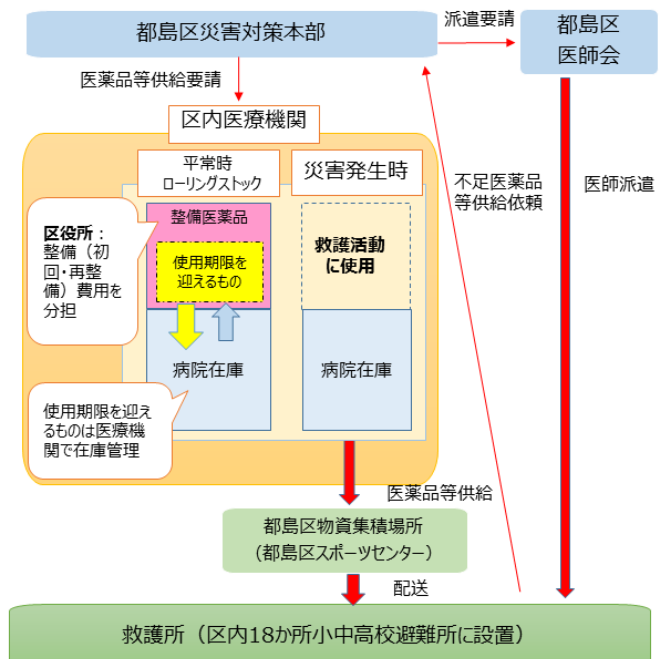
## 【30 年度事業の方向性】

- 救護所への医師の派遣など、区内医療機関との連携
- 応急的な治療に必要な医薬品等の初期費用は区が負担し医療機関で在庫管理、いわゆる循環備蓄（ローリングストック）を行い、災害時に救護所で使用できる医薬品を確保。
- この他、昨年度に引き続き、衛生対策・通信機器の整備、出前講座による防災意識の啓発などを進める。

## 防災・減災対策の推進



## 災害時の医療救護体制の充実





## 人と人がつながり、助け合うまちづくり

### 市政改革プラン 2.0（区政編）に基づく取組 人と人のつながりづくり

#### 現状・課題

25 年度より、町会、PTA、子ども会、老人会など様々な団体が参画する地域活動協議会（まちづくり協議会）が各小学校区に設立され、区役所では都島区まちづくりセンターと連携して支援してきた。

各地域では、防犯や子どもの見守りなどの幅広い活動に、ボランティア精神で取り組んでいただいているが、若い世代など、新たな担い手づくりが一層求められている。また、その土壌となる、人のつながりの意識は低い状況である。

ご近所どうして「声かけ」、「見守り」、「助け合い」、「支え合い」が行われていると感じる割合



人のつながりづくり、まちづくりの担い手づくりなどは、依然として地域の重要な課題である。

#### 取組案

若い世代も含めた人のつながりづくり、豊かなコミュニティの実現にむけた取組を進める。

- 人のつながり、担い手づくり  
若い世代などにつながりの大切さを啓発、イベント情報などを発信、SNS・広報誌などで地域活動を紹介
- コミュニティ・ビジネス化の支援  
地域活動の財源確保の手段として、コミュニティ・ビジネス化などを支援

#### （目標）

身近な地域でのつながりに関して肯定的に感じている区民の割合 前年度以上

地域活動協議会（まちづくり協議会）を知っている区民の割合 35%

（28 年度実績：知っている 9%  
聞いたことがある 17%）

#### 人のつながり、担い手づくり ～ これまでの取組

- 地域によるブログや SNS などによる活動情報の発信を支援（25 年度～）
- 桜宮高校の地域ボランティア活動への支援（26 年度～）
- 区民まつりで若い世代をターゲットにした前夜音楽祭を開催（27 年度～）
- 区広報誌で、地域のボランティア活動を紹介する連載「人のつながり！わがまち都島」を開始（29 年度～）
- 特技を活かし、地域で何かしたいママを対象とした「ミヤコジマ・マチ・ミライ交流会」の開催（29 年度）



## 明日に誇れるまちづくり

### 未来の都島を担う人材育成 グローバル人材育成事業（中学生ネパールとの Web 交流事業）

#### 現状・課題

これからのグローバル社会で生きていく力を養うためには、自分と異なる考えの相手に対して、自分の考えを英語で伝えることのできる英対話力が必要である。

25 年度からコミュニケーション力の育成や、異文化と触れ合うことで今後の学習への気づきを与えることを目的として、ICT グローバル人材育成事業を開始。

これまで学校や教育委員会のご意見も頂きながら、事業を見直し、改善してきた結果、28 年度の参加者アンケートでは、「積極的に自分の考えや意見をいえるようになった生徒の割合」が 94%となった。

一方、課題として事業の特性上、「参加者が限られること」、「英語力向上という点で具体的な効果が見えにくいこと」があげられる。

#### 取組案

グローバル化時代に必要なコミュニケーション能力のさらなる育成のため、対象を小・中学生に拡大するとともに、広く区内に募集を行い、実践的な英対話力を向上させるための英対話講座・英語体験活動を実施。

- 中学生を対象に、英対話講座を開講（全 5 回程度）。最終回には実践の場として海外の学生との Web 交流を実施
- 小学生を対象に、英語体験活動と異文化理解を深めるためのイベントを開催（各 1 回）

#### （目標）

参加者アンケートで、「今後外国人と積極的に対話・会話をしよう」と考える生徒・児童の割合：70%以上

### 未来の都島を担う人材育成 ～ これまでの主な取組

- **小学生やる気アップ学習支援事業（25 年度～）**  
子どもたちの基礎学力と学習意欲を向上させ、今後の学習への動機づけを行うため、大学生などの指導による「学習会」を実施する。
- **小学生運動能力向上支援事業（28 年度～）※**  
各小学校において、4年生を対象に陸上運動その他のスキルアップをめざした実践的な授業を実施する。
- **中学生ネパールとの Web 交流事業（25 年度～）**  
グローバル化時代に必要なコミュニケーション能力を身につけるため、ICT を活用しネパールの生徒と交流する。
- **民間事業者を活用した課外授業（28 年度～）※**  
区内中学生を対象に、基礎学力の向上等、子どもの習熟に応じた学力向上及び学習習慣の形成を図るための課外授業を、中学校ごとに実施する。

※ 校長経営戦略支援予算（区担当教育次長執行枠）

なお、桜宮高校と小学校の交流授業をはじめ、区内の各高校との連携も引き続き進める。